

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第1回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

- ・令和3年度地域活動支援事業について（公開）

### 【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について（公開）

## 3 開催日時

令和3年4月20日（火）午後6時30分から午後7時32分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、磯田一裕、河野健一、久保田幸正、坂井芳美、田中 実、田村雅春、林 昌宏、古澤悦雄、増田和昭、町屋隆之、丸山岳人、水澤敏夫、水島正人（欠席者2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【中澤会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：古澤委員、増田委員に依頼

今まで町内会長に集まっていたいただいて話し合いをした結果は、お配りしてあるのか。

**【中村センター長】**

本日、No.2として配付させていただいたのは「直江津のまちづくりを話し合う会」ということで、2月27日と3月3日の2つをまとめたものである。町内会長と年末に2回開催させていただいたものについては、年明けの地域協議会の時にお渡ししてあるので、今回は改めて配布していない。

**【中澤会長】**

配布されていれば結構である。

議題【協議事項】令和3年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

**【中村センター長】**

- ・資料No.1「令和3年度地域活動支援事業 直江津区 審査スケジュール（案）」に基づき説明

**【中澤会長】**

提案書を受領するのが5月14日で、それについての地域協議会が5月18日である。この日に公開プレゼンテーションを行うと前回の会議で確認しているが「1団体5分、質問はなし」でよろしかったか。話を聞いていると質問したくなるので確認しておきたい。入れ替えを含めて5分なので、おおよそ1時間で終わるかと思う。また、公開プレゼンテーションをしたくない団体は、はずしてよいか。

**【中村センター長】**

できれば、プレゼンテーションをしていただきたいが、日程の都合がつかないとか、書面のおりという団体もあり得ると思う。

**【中澤会長】**

承知した。5月18日に公開プレゼンテーションの後に質問を取りまとめる時間が取れば1番よいわけだが、その辺を見越して皆さんの意見を聞きたい。

**【増田委員】**

令和2年度は、委員改選で新しく委員になった人もいたが、結果を早く出したいということで途中を省略してしまった部分がある。本来は懇切丁寧に説明して充分わかったうえで進めていかないと非常に困ると思う。先ほどの事務局の説明のとおり7月1日か

ら2次募集をしたいが、そのためには皆さんに少しご苦勞をお願いして、新しい人にし  
っかり理解していただける方法で進んでいきたいと思う。公開プレゼンテーションは先  
ほどのとおりである。質問の取りまとめもそのとおりだが、案1と案2は「個別質問票  
の取りまとめなし」となっている。個別に質問をしたい内容は多いと思うので是非やっ  
てほしい。案3で5月25日になっているが、5月18日の地域協議会に臨むにあたっ  
て、それまでに提案書をしっかり見てきているので、そんなに日数をかけなくても個別  
の質問票はすぐに取りまとめができる。その前に全体の質問の取りまとめもあるので、  
それに漏れたものだけ質問に出せば良いので、少し日程を詰めて個別質問票のとりまと  
めはやったほうが皆さんの理解は進むと思う。

私としては、個別質問票をいれて途中日程をやりくりしながら2次募集は7月1日か  
らに持っていきたい。

具体的には、個別質問の提出は5月20日、理由は5月18日の地域協議会の中にそ  
れぞれ質問を考えてきているので、全体の場で漏れたものについては個別に出すとす  
ると5月20日の提出でも十分だと思う。

5月20日に提出できれば、ほぼ案1に沿って進められると思う。

**【中澤会長】**

他にないか。

**【磯田委員】**

資料項目の3から4の流れは増田委員のおっしゃるとおりだと思う。案1でいくと項  
目7の協議会の開催、つまり質問を出した、回答が返ってきた、質問を受けての協議が  
ない状態になるのは良くないと思う。

5月18日以降の日程が厳しくなると思うが、質問票の回答を受けた後の協議会の開  
催はやったうえで、採点表の提出にした方が良く思う。

**【町屋委員】**

今の話だと案1、案2には事前の協議が存在しないのか。事前の協議は項目4なので、  
項目4のない案では、プレゼンテーションはあるが全体で協議する場は設けられていな  
い。

**【中村センター長】**

5月18日に公開プレゼンテーション後、同日に質問項目も協議するという意味で大  
きな枠表示になっている。

#### 【町屋委員】

時間短縮ではなく、そういう意味なのか。それであれば問題ない。

募集を考えたら、7月に2次募集をやったほうが良いのはわかるが、そこは追加募集なので、それありきでスケジュールを一生懸命組んで事務局に過度に負担が掛かるようになるのであれば、8月の2次募集でも問題がないのではないかと。

#### 【水島委員】

私たちにとっては初年度のようなものである。ちょっとわかりにくい。「今まで、この状況でやってきたが、これで異存がないか」ということで進めていただいたほうが私はわかりやすい。「何か質問があるか」と言われても、昨年やった、その前にやったことを覆して違うことをやろうとしているように見える。

#### 【中澤会長】

昨年、従来やってきた形と違うところは、全体協議が1つなかった。やはり、全体協議の場をできるだけたくさん持ったほうがお互いに良い。例えば、公共性といってもそれぞれ現場に即しての公共性は一人一人違う。その判断基準は皆で違って良いが、この提案者はこういう意味合いで言っているということは、全体協議をやらないとわからないところが出てくる。昨年は全体協議の場が1回なく、いきなり質問をまとめるという形になった。今までは、全体協議を1回全部の提案を見たときに提案内容を1回協議して質問を出して、その質問の回答がきた後で、もう1回全体協議をやった。それから採点をしていた。

#### 【古澤委員】

昨年は全くわからないまま採点した。今年は今までどおり皆さんの考えを公表していただいて、それから回答するのが良いと思う。会長が言われたとおりのことをやっていただければ、私たちもわかるし、昨年は本当に悩みながら点数をつけた状況だったので、ぜひお願いしたい。

#### 【町屋委員】

公開プレゼンテーションをしてもらうのは、資料の補完能力としてはあるが、資料を読んでそこに臨んで同じ内容をもう1回聞かされることが多い。そこで持っている質問は、結局書面で出すしかないなので、本当はその書面に対しての質問がきた後でもう1回質問に対しての回答を踏まえたプレゼンテーションをしてもらう形が、本来であればベストである。しかし、今回これで出てきているのでやってみて、今年は違う形でやるこ

とが良いことであるとすれば、この案も来年「このタイミングでプレゼンテーションをしても資料と同じことしか言わない」と皆さんに理解してもらえことや、プレゼンテーションは、本来そこで質問をしたりすることが内容をより深めるにはベストだが、逆に良くないことも沢山あるので、やってみなくてはわからないと思う。だから、今回この提案で乗っていくしかないと思っている。

**【中澤会長】**

個別質問ありで、その取りまとめは5月18日のプレゼンテーションが終わった2日後で良いのではないか。そのうえで日程を組んで、質問書の回答がきた段階で全体協議を持つという形になると、案3の日程が少し繰り上がるかどうかだが、そういう形が進められるか。

**【中村センター長】**

確認だが、案2に個別質問の取りまとめを入れた形になるので、5月20日に個別意見の取りまとめをしたとすると、日数はすぐには言えないが、項目6以降は2、3日押していくという形になれば、案2と案3の間くらいで進めていくことができるかと思う。

**【中澤会長】**

案2で、個別質問票の取りまとめをするということで、そこの部分が変わる。回答がきた後で地域協議会を1回持つという形ではよろしいか。

**【中村センター長】**

案2の質問依頼を5月21日にして、提案者からの質問を事務局への回答締め切りを5月27日にすると、ほぼ案2を進めるということでしょうか。

項目7の日をここで決定していただくと、スムーズかと思うがいかがか。

**【中澤会長】**

6月3日でよろしいか。

(賛同の声)

**【丸山委員】**

確認だが、項目5の個別質問・意見票の提出は実施でよかったか。これが5月20日になるのか。

**【中澤会長】**

5月18日に質問項目協議を行う予定である。これをやらないと意味がない。それにプラスして個別質問を受け付けるという形になる。

【田中美佳副会長】

追加募集の期間は、8月2日から16日ということか。

【中村センター長】

そうなる。

【増田委員】

地域協議会の開催を6月3日にすると、採点表の提出が6月7日は可能である。採点表の提出を6月7日にすれば、案1の日程でいけるのでこの日程でやったらどうか。私達も少し汗をかいて、地域の皆さんに余裕を持って提案していただくということが大切だと思う。

【中澤会長】

2次募集の日程まで提案があったが、6月3日に地域協議会を開催して、今度は案1の日程へ戻っていく。採点表の提出が6月7日。2次募集が7月1日からという日程でよろしいか。

【中村センター長】

案2をベースに個別の質問の取りまとめを追加し、5月20日までに事務局に出していただく。

事務局では項目6として、提案団体に5月21日に質問の依頼をする。提案団体からは5月27日までに事務局に質問の回答を提出いただく。5月31日に、地域協議会委員に回答を送付させていただき、6月3日に地域協議会を開催する。

項目8から案1に戻り、事務局に6月7日までに採点表を提出していただき、以下は案1のとおり進んで地域協議会を6月10日に行う。

それから、追加募集は7月1日から7月21日という形で協議いただいたかと思う。

【中澤会長】

以上でよろしいか。

(異議なし)

【中澤会長】

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について意見を求める。

昨年度、何度かいろいろな関係者にお集まりいただき意見をいただいた。資料No.2にまとめているわけだが、今後これについて直江津区地域協議会としてどういう方向で話し合いを進めていくのかをまずお聞きしたい。

過去10年いろいろあり、試行錯誤しながらやってきたが、何か焦点を絞って話を進めていきたいと思っている。次回以降、時間を見てやっていきたいと思うが、何か提案があったらお願いしたい。

#### 【増田委員】

資料No.2の各団体との意見交換の内容を見ていただければと思うが、2ページ目に地域団体対象で載っているが、直江津区で比較的早く取り組んでしっかりと体制を作らなければいけないと思われるのは、

①五智公園のあり方、これは特に「五智公園を育てる会」と行政との関係で、昨年、行政がやらなくてはいけないベンチの設置を「五智公園を育てる会」で提案として持ってきたが、その辺の区分けがしっかりしていないので、関係者から意見を聞くのが良いのではないか。

②古城小学校は、小学校の跡地に企業誘致をするような話もあるが企業を誘致してしまうと小学校が津波の避難所としてどのように使えるかということは非常に重要な事項である。それから、建物の中に福島城の歴史の記念物が沢山ある。その置き場所がどうなるか、私たちにとっては重要なことなので、これも「福島城を愛する会」と行政から来ていただいて考え方を聞く必要があると思っている。

③の三八の市だが、関わっている人から意見を聞くと沿道の住民のいろいろな苦勞がある。維持については、衰退化しているということもあるので、できれば関係者の皆さんと行政から来てもらって、話を聞いたらどうかと思う。

この3つは、直江津区にとって非常に重要な課題である。他の問題はそんなに急がないが、これらについてはしっかりと方向性を確認しておかないと、それぞれがみんなどうしたらいいかということになるので、この3つについて私は関係者から意見を聞いて方向性を決めていったらどうかと考えている。

#### 【中澤会長】

まず、関係者から話を聞くということか。横道にそれるかもしれないが、提案団体が4月末日までに提案をしてくる可能性がある。3つとも提案してくるかはわからないが、いずれにせよ、それは別として、今まで10年間やってきた中でこの3つがいろいろな提案をしてきた団体である。引き続きそういう関連もあるので、地域活動支援事業とは切り離すか一緒になるかどうかかわからないが、まずその3つの団体から話を聞いてみるのところからスタートしたいというお話だと思う。

## 【水島委員】

増田委員から、直江津地区にとって大変なことだということで、福島城のお話を出していただいた。このことについて、先般、町内会長と雑談する機会があった。大いに盛り上がり時間を忘れるような話をさせていただいた。私は福島城をネットでしか理解していない。福島城の原型、もともとどういう城だったかも理解していなかった。「福島城を愛する会」をいろいろ調べてみたら、実は福島城はこういう原型だったということ相当大きな図面に書いてお持ちになっている。それを町内会長がお持ちになられたので私が預かっている。ここでは披露しないが立派な城なのだと思う。これを皆さんにお願いをするなら、それがまた上越市のためになるのかとも思う。町内会長も、今回の地域活動支援事業についても相当興味を持っていて、このことについて、皆さんにお願いすることになるのではないかと私は推測する。

## 【中澤会長】

3つの団体から話を聞いて実情を知るところからのスタートという確認だけでよろしいか。

(賛同の声)

## 【町屋委員】

このまちづくり構想の肝は、結局何をしても良いことが沢山あるが、みんなが同じ方向へ向けるという部分、これが柱だという柱を新しく1本立ててくれるものだという期待がとても大きい。それによって、個別の事業の採択にすごく影響すると思う。

例えば福島城に関しても、興味のない人は活動している人がいるのだという観点でしか採点に携わらないと思う。これが事前に協議をやった上で採点に臨むとやはり全然違う。実際はスケジュール的に採点の前にみんなで理解を深めるのは無理だが、さっき水島委員がネットで調べたというお話をされたように、1度そこを覗いてみて資料も沢山あるから、それを調べてみると、福島城はこの事業採択にはそぐわないと思う。私はどちらかというとも規模が大きすぎて行政のお金でないと前に進まないと思う。逆に言ったら草の根でできることも沢山ある中で、そこにもっと行政にしてもらったほうがベストで、そういう部分をここで採択することにおいて、また一つ上に声を上げられるとか、直江津の宝だと直江津の人が発信していることを、もっと広く上越市に知らしめるためにも、ここですることに意味はあると思う。直江津区の採択事業でどうにかすればいいというレベルの話ではないと思う。そういうところも踏まえて、是非とも皆さんの理解



が深まるように今回間に合わないなら間に合わないなりに深めてほしいと思う。

**【中澤会長】**

望むならば、そういう深い話をしたいと思っている。時間との関係もあるが1番大事だと思う。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

**【中村センター長】**

前回青山副会長から「旧中央保育園跡地はどうなるのか」という話を、直江津区地域協会でも承知していたほうが良いのではないかと声をいただいた。担当課に確認した結果、旧中央保育園については、跡地利用について地元の横町町内会と協議を進めてきたところ、建物や敷地は町内会では利活用しないという意向が示され、市の内部においても利活用の見込みがないということで、まず建物を除却することになる。そして原型復旧するための建物の除却工事、それから崖になっているので、擁壁の工事について令和3年度に工事を実施する予定でいる。

古城保育園については、市の内部、地元の港町1、2丁目町内会に建物の利活用の意向を確認したところ、意向はないという回答いただいたところであり、また不動産業協会に、評価を確認したところ建物を含めて売却を見込むことができる土地であるという回答があった。まず、現状有姿で売却することを予定している。売却が不調となった場合、今年度中に建物を除却できるように検討していく旨で担当課から連絡あった。

**【中澤会長】**

他にいかがか。

**【田中美佳副会長】**

昨年度の地域活動支援事業のアートプロジェクトのことだが、先日それが終わったと思う。私も最初だけ参加させていただいた。浜の診療所のところで、質問を書いて貼ると皆さんが答えてくれるところがあったので、それを一応貼ってきた。そのあと、それがどうなったのか全然お聞きしていない。塩のところにも、しょっぱい記憶をいろいろ書いてあったようだが、それを書いたままどうなるのか気になったので質問したい。

**【林委員】**

おそらく書いていただいたのが浜の診療所での問診票かと思う。記入していただいたものに関しては、非常に数多くのご意見いただいたので、まずは、データ化して皆さんがどういったご意見を町に対して持っているのかをサマリーのような形でいただい

る。いただいたご意見に対して今後くらしの美術館として、町の悩みや思いに対してどのような動きができるのか検討材料としたい。

**【中澤会長】**

質問は、それを今後どういう処理されるのか。どういう利用のされ方をするのかだと思ふ。

**【林委員】**

そのいただいた内容を基にどのような形で、次ステップを進めていくのかを今議論させていただいている。

**【磯田委員】**

くらしの美術館実行委員会の準備会に参加している地元の者として、補足させていただく。今回は、くらしの美術館というアートという形の切り口でやってきているのが、基本的には直江津が抱えている社会問題だとか、直江津の暮らしにスポットを当てて、皆さんがどういう思いでいるかを拾い上げるというのが、1つのテーマであった。回復のプロジェクトについては、今まで地域協議会で「意見交換をしましょう」とか「町内会長から話を聞きましょう」と進めてきた。形としてはその流れの一つのパターンだが、若い人たちが悩みとか、町に対しての思いを語ってくれたというのはすごい成果だったと思っている。今たくさんデータがあるので、まとめてもらっているところで、私もまだそれは見ていない。それをどのようにくらしの美術館として次年度以降どうしていくかというところまで話は進んでいない状態である。いずれにしても一時的なデータだとしても地域協議会に資料として提出をしてもらいたいと思う。「こういう話があった」というのは少なくとも資料として蓄積するだけではなくて、この協議会の中に共有してもらいたいと思っているので、提出をぜひお願いしたい。

**【田中美佳副会長】**

浜の診療所の問診票は、協議会委員としてではなく一般市民として書いた。一般市民は自分が書いた意見がどうなっているのか、とても興味があるのではないのか。先々にデータとして利用するとかそういう難しいことではなく、せっかく書いたのに「何だろう」というふうになっている人は多いのではないかと思う。自分もそうだが、この人に書いてもらい、この人の意見はこうでしたと示していただかないと、やりっ放しのような感じがする気がして質問させていただいた。そんな難しいことではなく、一般人としては、何か返事が欲しいと思う。簡単なものでもいいが、そういったものがあれば、自

分たちがやったことの成果がわかるし、何か自分たちが関わっているみたいな気持ちにもなれると思うので、橋渡しみたいなものがあつたら嬉しい。

#### 【水島委員】

今の田中副会長の話は非常に心に響いた。難しい話で地域が良くなっていくというのは、それはあるかもしれない。今の時代そうじゃないような気がする。自治を勉強するとそうじゃない方向に実は動いている。皆さんがいろいろな意見をお持ちになっている。昔はある偉い方がおいでになられて「こうだ」というと、その方向に進んだ時代があつた。今はそうではない。田中副会長がおっしゃられたことが「今日来てよかった。この話を聞いてよかった」と思った。この会も、話し合いをみんなのできる、できればそういう会にしていきたい。

話は変わるが、まちづくりを話し合う会の結果が出ているが、この時に言葉のキャッチボールができて非常にうれしかった。先ほどの福島城の話もさせていただいた。ある人から質問をいただいた。それが会じゃないか、それが自治ではないかと思う。

#### 【町屋委員】

「あれどうなったの」という「どうなったの」は、回答を求めているわけではないと思う。求められているものは回答と思ったらそれは絶対違う。逆に、そういうご意見をいただいて「こうします。こうなりました」という話ではなく、できることであれば、どうなったのかの回答は、私の場合必要ない。ただ、せっかくだつたらその問題提起が大事である。みんながこんなことを思っている人がいるという共有ができたのが、あそここの場が大事だつた。こんなこと思っているが、やっぱりそうなのだという、あの場はもうなくなるとしても、例えば、こんなご意見をいただきましたというのを残すだけで町の人の問題意識をもっともっと広げられるのではないか。そのぐらいはお願いしたい。

#### 【林委員】

私も現場にいてお客様からのご意見をいただくが、やはり、シンプルでわかりやすいほうが動いたり、考えたりしてくれるのだと思ったので、今一度アートプロジェクトをさせていただいて、本当に原点というかそういったところは非常に重要なことだなと私たちが感じるところである。

#### 【中澤会長】

今、地域活動支援事業の提案はいくつ出ているのか。

#### 【中村センター長】

3つである。

**【中澤会長】**

地域活動支援事業の締め切りが4月30日なので、出したいと思っている方を承知していれば、遅れないように提案されるよう伝えていただきたい。

**【町屋委員】**

前回の協議会で、市からアートプロジェクトを地域活動支援事業ではなく、大地の芸術祭とのコラボみたいな感じでやるという話があった。それはそれですごいが、やはりコロナをまだまだ軽々に考えているのかなと思う。今、今年度の提案が3つだと言われて、やはりそういう感覚なのかというのをすごく思う。コロナをこの辺の人は身近に考えていないが、このご時世でイベントを打つというのは、すごい覚悟が必要なのだと思う。

だから、この間、市から説明があったが今どう考えているか興味がある。出てきたものに関しては、真摯にその人たちが考えることであって、私たちがコロナだからどうするのかと言ったら前には進めない。そこは考えなくても良いのかもしれないが、だからといって消し去れる問題でもないと思う。

**【中村センター長】**

・次回の協議会：5月18日（火）午後6時30分～

**【中澤会長】**

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。